

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の介護の中で、理念に基づいて、笑顔での対応を心掛け、ご家族様へ感謝を忘れず対応することが出来ている。新人スタッフにも、理念に基づいた、介護の指針を説明・指導し実践できている。			日々の入居者様の状況により、ケア内容や対応方法は目まぐるしく変化されるが、理念に基づいて、全職員が同じ方向性のケアを行っていただけるよう次年度への目標へと繋げていきたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策規制緩和により、町内会夏祭りに参加することが出来ている。施設行事でも町内会やご家族の方の参加もあり、入居者様と地域との交流が出来ている。	地域との連携が途切れないような取り組みを期待し、感染症対策の徹底も継続していただきたい。町内会との関係はきわめて良好であり、交流が入居者様にも充分伝わっていると感じます。新型コロナが5類へ移行に伴い、状況に合わせて柔軟に対応されている。(行事・面会・推進会議等)		今年度は5月より、コロナ感染対策規制緩和され、町内会等の地域との交流や繋がりが再開されたので今後も継続していきたい。地域行事に参加するだけではなく、施設行事に地域の方を招待するなど、地域との交流を図る事ができた。また今後も様々な感染症のリスクはあるが、情勢に応じた感染対策を継続しながら、地域との繋がりを継続したい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月おきに開催継続しており、活動状況・入居者様の状態・ヒヤリハットについての報告と話し合いを行い、意見やアドバイスを頂きサービス向上に努めている。コロナ渦にてご家族様の参加はしばらくないが、議事録を郵送し意見等を頂いている。	定期的に運営推進会議が開催されており、家族にも議事録を郵送出来ているので、今後も継続して欲しい。特にインシデント・アグジットについては、会議毎、施設側から報告があり、実態を詳細に聞き取り、解決・対策を結論づけている。推進会議の内容をすぐ職員へ周知しているので報連相がしっかり出来ている。		運営推進会議を活かして職員へ内容提供・共有を行い、サービスの質向上に繋げている。次年度への目標としても、引き続き、情報共有を行い、より良いケアを行えるよう目標とした。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やホーム長対応での役場への訪問・市町村担当者との積極的な情報交換を行い、良好な協力関係を築けている。	ヒヤリハット・インシデントも事業所内で、情報共有出来ており、事故報告書も即日、行政へ報告している状況。施設側と行政との意思疎通は良好であり、スムーズな対応に繋がっていると評価している。行政や包括支援センターとの関係は良好で、情報交換や協力関係が築けている。		地域包括ケア会議への出席、包括支援センターや行政等とホーム長が中心となり、こまめに情報共有が出来ている。今後も情報の共有を行い、良好な関係を築いていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束委員会を毎月1回開催し、定期的に職員全員で勉強会を行っている。入居者様個々の状態に添った意思確認や思いを尊重する事を大切にしながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月身体拘束廃止委員会を開催し、年間定期的な勉強会も行っており、身体拘束対象者ゼロで経過している。次年度も毎月の委員会の活動と定期的な勉強会を開催し、身体拘束への知識をより深めていき、対象者を出不さないケアを継続していきたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し、毎月の会議開催と年2回の勉強会及び、外部の研修会への参加を行っている。意図せず行った事が虐待となってしまっではないか？等、職員一人一人が常に意識考えて、日々のケアに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月虐待防止委員会を開催し、年間定期的な勉強会も行っており、虐待防止への意識を高めている。言葉遣い等、意図せずとも虐待にあたるのでは？という日々のケアを振り返る場面を設けていき、今後も虐待予防へ努めたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度の知識については、ある程度は各スタッフ認識しているが、細かい部分への知識は不足しており、今後の研修や勉強会での知識向上を課題としている。			中々勉強会はできておらず、外部研修も近隣開催がなく遠方の為、出席できておらず知識の向上に努める事ができなかった。成年後見制度について、今後は資料の提供などで、勉強会を開催せずとも知識の向上を図れるよう工夫を行うべきであり、次年度の課題とした。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長対応にて、入居前に口頭・書面で十分な説明を行い、理解・納得された上で契約を交わしている。また、変更時には迅速に連絡し再度説明を行っている。			ホーム長対応にて、ご本人様・ご家族様へ口頭・書面にて入居時に十分説明行っている。そして理解と納得から契約を行っている。入居後も変更内容などは説明を行い同意書へ署名や捺印を頂いており、今後も施設側とご家族様とで納得した上で同意・契約を交わされるよう努めたい。

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けにより、入居者様の意思を汲み取り反映し、ご家族様からも、面会時に都度話しをする機会を設けている。定期的にご家族様へアンケートを実施し、普段話しやすい事も言える機会を作っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ中心となり、日々入居者様と関わっていく中で要望を汲み取り、ご家族様からは電話対応や面会時に日々の状況を報告し、意見を聞き取りサービスへ反映している。今後もサービス向上の為、些細な事でも汲み取り随時サービスへ反映したい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長から日常的な会話の中や、毎月の全体会議等で、職員からの意見を聴取し、運営に関する説明を十分行い対応に努めている。また、上層部へ反映できないような意見であっても蔑ろにせず対応に努めている。			スタッフからの意見を汲み取れるよう、日々の何気ないコミュニケーションを大切にし、意見を言える場を設けている。スタッフ間の意見相違時にも心身に意見を聞き、解決する姿勢をとっており、職場内の人間関係構築を図っており、今後も継続して対応していきたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の意見・希望を取り入れ、業務改善・労働時間の調整等行っている。コロナ感染拡大防止のため制限はあったが、職員一人一人がやりがいと向上心を持って働けるよう、施設内外の研修会・勉強会などへ参加出来る体制が整っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の業務への実績、勤務時間内で終われるよう調整している。細かな疑問にも相談にのり、希望にそえるように業務の改善等を行い、個々が働きやすい環境作りを提供できるよう努めている。全ての意見を反映する事は中々難しいが、今後もできる限り希望に添えるよう対応したい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン研修が増え、研修に関係する委員会職員を優先的に参加させ知識の向上を図り、次の同内容の研修時には、研修が必要だと思う職員を順次参加させ、職員全体の介護のスキル向上に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン研修等により、コロナ状況に左右されず研修に参加する事ができていたが、近隣の外部研修は少なく参加の機会は乏しかった。しかし、施設内研修を手厚くし、毎月開催する事によりスキル向上に繋がったと思われ、今後も行っていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な範囲での意見交換・情報共有を行いサービスの質の向上に努めており、また定期的に開催される地域包括ケア会議へも出席し情報交換にも努めている。			協力医療機関(えとう森町クリニック)の医師・看護師と連携を図り、サービスの向上を行っており、地域包括ケア会議への参加や他事業所との入退去等の連絡調整を密に行っている。今後も意見交換・情報共有を行い、サービスの質の向上に努めたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしを共にできるよう、入居者様のADLを把握し、家事手伝いをできる限り行って頂いている。自分でできるという自身に繋げ、介護される一方という状況を少しでもなくせるよう、会議や日々の情報交換から提案・改善・実行に取り組んでいる。			日々、入居者様の精神面の状態・体調面により手伝える内容は変わってくるが、その時にあった手伝いができるよう努めている。判断が難しい場面もあり、経験を積んで、より最適な判断が出来るよう、今後のケアに取り組んでいきたい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対策緩和以降、引き続き、面会時間や人数の規制は継続中。但し、施設内での面会が可能となり、親族や知人の方との交流ができている。入居者様によっては面会后、不穏となられる方もおられるが、スタッフの対応により落ち着かれ、継続した関係作りができている。	居室に馴染みのある椅子であったりタンス等をいれているので、自宅のような環境で過ごすことが出来る。入居者様ご家族からの情報により、知人との面会は入居者様の満足度を高めていると思われる。今後も継続した関係作りを期待しています。		面会等から満足度も高く、良い意見をもらっており、継続した関係性作りができている。入居者様によっては、面会后不穏となられる方もおられるが、スタッフ対応で落ち着く事ができている。今後もより良い関係性作りを行っていきたい。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の馴染みのある生活スタイルや趣味・好きなものは日々の会話やコミュニケーションを通して把握し、出来る限り本人の望む生活を提供出来るよう努めている。意思疎通が困難な方については、普段の関わりの中から本人の意向をくみ取り支援している。		一人一人の生活スタイルに添ったケアを提供しており、施設生活の中で変わってきた事についても、スタッフ同士情報の共有を行い、意向を把握して提供するようになっている。今後も全ての意向に添う事は中々難しいが、できる限りのサービスを提供したい。	
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は半年ごとに見直し、モニタリングは3か月ごとに行っている。担当職員は入居者様の日々の様子を的確に記載し、計画作成の際は本人の意向はもとより、ご家族様の要望も反映させている。食事形態や排泄対応等、その時の入居様の状態に合わせた介護計画を作成している。	実地指導の際、ケアマネジメントサイクルの流れを確認したところ、しっかりと出ていた。介護計画は入居者様・家族様・職員が一体化によって実施完成へと導く。職員の力量が充分発揮されている。利用者様、家族の意向、要望や状態変化に注意しながら介護計画を作成していただきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員を中心に、ご本人様の日々の様子からモニタリング・アセスメントを行い、ご家族様からの要望にも添ったサービス内容を提供する事に努めた。今後も認知症状の低下や病状悪化など、様々なケースが起こりうる為、都度その時の状況を確認しながらサービスへ繋げていきたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間対応で毎日の状況や行動履歴を個人ごとに記録している。言動も本人が話したありのままの言葉を記載したりと、その時の様子が目に浮かぶような工夫も行っている。常に全職員間で情報を共有出来る体制が整っており、支援の実践や介護計画の見直しに反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細かな変化も記録に落とし込み、そこから温度版(食事・水分・排泄・バイタルなど)、細かな情報を把握できるよう努めた。日々変化していく体調などからも、ご本人様に添った介護計画を作成できるよう努めていきたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々により、ご家族様からの要望も変わり、入居者様からの要望も変わるため、都度、話し合いを行い、既存のサービスから変化し対応できている、柔軟なサービスの提供ができています。	利用者1人1人に合ったケア内容を立てており、柔軟に対応されている。施設生活にはマンネリ化が存在する事から、四季折々の変化や個々のサービス対応をする事で施設のグレードを高めている。		柔軟な対応が出来ているとお言葉を頂いているが、日々の状態が変化することで対応が追い付かないケースもあり、今後も課題として既存のサービスから派生するサービス向上に努めたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍緩和された事で、今年は数年ぶりに町内会盆踊り大会へ参加する事ができた。入居者様数名引率し、飲食・盆踊りを踊ったりと楽しんだ。運営推進会議や町内会の情報から、施設近辺の催し物への参加計画を日々立てており、地域資源への協働ができています。	町内会とのつながりが強く結びついており、積極的に地域へ出向いたりしており、地域とお互い支え合っている状況。町内会活動への参加を通して地域の動向察知で入居者自身の心身リフレッシュに寄与されており、地域資源との協働が成立している。心身を活性化させる取り組みを今後も継続してほしい。		今年度5月よりコロナ感染対策規制緩和に伴い、町内会の催し物へ参加でき、入居者様は顔見知りの方との談話や久しぶりの外出もあり、楽しまれている様子が伺えた。今後も地域資源を把握、活用しながら、より自由に楽しめる環境を提供したい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関、えとう森町クリニック担当医師にはほぼ毎日のように来所して頂いている。24時間対応となっているため医師へすぐに連絡を取れる状態になっており、緊急時にも連携を取り対応している。病状により専門医療機関での診療が必要な場合は、ご家族様に付き添いをお願いし協力して頂く事もある。			現在は、協力医療機関えとう森町クリニックがすべての入居者様の担当医師として対応しており、ほぼ毎日来所し対応行っており、看護師も来所して下さる為、往診や相談にも早期対応できている。必要時にはご家族様へも丁寧な説明して下さり、今後も良好な関係づくりを継続したい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長を中心に、病院の医師・看護師・ケースワーカー等のスタッフとの連絡を密にし、信頼関係を構築しており入居者様の現在の状態を互いに把握している。入居者様に何かあった場合でもすぐに対応して頂けるよう、日頃から些細なことでも話し合いが出来る関係を継続していけるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関により、施設内である程度の治療対応ができています。入院等必要時にも、日頃から他施設との連絡を密にしている為、スムーズな入退院が可能となっており、今後も必要に応じて適切な医療を提供したい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	えとう森町クリニックの協力により、看取り介護を実施している。入所時や状態変化時にホーム長よりご家族様へ施設で行える対応の説明と、医師からは現在の状態・今後の方向性について説明を行っている。看取り開始となった際には、医師への報告・連絡・相談を密にし、全職員で支援に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り対応を行う場合には、職員間での話し合いを充分に行い、ご家族・医師との十分な相談から実施・提供できている。看取り開始後も医師への報告を密に行い、状況変化時には迅速にご家族へ連絡するよう努めている。看取りの経験から、さらにより良い看取りケアを実施できるよう努めたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に勉強会・研修を行い、急変時の対応に備えている。実際に対応する時に焦りや困惑してしまう事を考慮し、マニュアルの作成・緊急連絡先や対応の方法などを事務所に掲示し、いざという時に備えている。			今年度は11月現在まで、実際に急変事例がなく、全ての職員が迅速に対応できるかは分からないが、定期的な研修やマニュアルの理解、書類保管場所の把握など、各ユニット・事務所に掲示している。今後も定期的に研修を行い、いざという時の迅速な対応に、焦らず冷静に行えるよう努めたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、所轄の消防署・設備会社と連携し避難訓練を行っている。災害時の対応マニュアルの作成・非常食のストック管理等、緊急時にスムーズに対応できるような体制を整えている。	避難訓練はいつも工夫し行っており、真剣に取り組まれている。日頃災害に備えたマニュアルによる避難訓練の実施、職員への教育が行き届いている。火災・地震・噴火など自然災害を想定した訓練を行ってほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災訓練は最低年2回は実施継続しており、全職員経験済み。以前からの課題だが、自然災害を想定して風水・地震・地域特有の噴火などの訓練に取り組んでいきたい。コロナ情勢をみて地域の方々と協力した災害対策を行いたい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションから一人一人の性格や個性を見出し、その人らしさを失う事なく生き生きと過ごせるよう、職員間で常に話し合いを重ねている。マイナスと受け取れる行動・言動に対しても、尊厳とプライバシーを損ねる事がないよう、対応に工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の性格や生活歴などから、言葉掛けの工夫を行い、個々に添った対応ができるよう努め、何かあればスタッフ同士話し合いを行っている。認知症状などにより、以前の声掛けでは不穏となられる時もある為、今後も話し合いを重ね、尊厳をもった対応に努めたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り希望に沿った支援を行っているが、自室にこもりつきりになったり健康や衛生面に問題がある際には、声掛けに工夫をし職員から提案をしている。意思疎通が難しい入居者様については少しでも希望に沿えるよう、問い掛けにYES/NOで単純に答えられるような対応を工夫し支援している。			施設生活での活動にも無理強いはいしないように声掛け行っており、ご本人様のペースに合わせた支援を心掛けている。認知症状によっては問い掛けも簡単な返事が出来るように工夫し、希望に沿ったケアの提供を行っていききたい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせ、食器を軽量化したり食事形態を変更したりと、自身の力で食事を楽しんで暮らせるように努めている。また、食後の食器の後片付けも職員と協力しながら行っている。毎月の「おやつレク」ではメニューに趣向を凝らし、材料の下準備等を一緒に行う事で楽しみが倍増するよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やおやつレク等、一人一人のADLに添った役割分担を行い、一緒に作業行っており、食事を楽しみなものになるよう努めている。全ての作業に参加できない方であっても、見学して頂き、同じ空間にいてもいい環境づくりを行っているなど、今後も認知症状の緩和を目的として支援継続したい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食時の摂取量を記録し職員間で共有している。摂取時の状態観察も行い、個々の状態に合わせて無理なく適切な量や栄養バランスが維持できるよう、臨機応変に対応している。体重減少等の問題がある際にはすぐに医師へ相談し、栄養補助飲料を処方してもらう等、指示を頂いている。			毎食の食事・水分摂取量を記載するチェック表と毎月1回体重測定を行い、栄養の増減を把握しており、特変時には医師へ報告し、栄養補助飲料処方や、必要時には点滴実施するなど、早期対応を行っており今後も継続し努めたい。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、一人一人に声掛けし口腔内の清潔保持に努めている。見守りや一部介助にて洗浄・清拭を行ったりと、個々の口腔状態や能力に合わせた対応を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤嚥性肺炎予防の為、毎食後口腔ケア実施しており、自分で出来る方には促し、介助が必要な方には、口腔ティッシュを使用するなど、口腔内の洗浄及び、残渣物の有無確認を行っている。介助が必要だとしても残存機能を活かして、義歯のみは洗浄してもらうなど、一人一人に合わせたケアを実施しており、今後も支援継続したい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を活用し個々の排泄間隔を把握する事で、適時なトイレ誘導や声掛けを行っている。また、夜間はオムツ使用だが、日中は布パンツやリハビリパンツへ変更し自発的にトイレで排泄が出来るよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を活用し、排泄パターンの把握、便秘時には主治医へ相談のもと、下剤調整している。コスト面では使用するオムツ類の見直しを図り、ご家族の負担を少しでも配慮できるよう努めている。出来る限りはトイレでの排泄支援を行っており、今後も継続したい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様によって、入浴順番の希望が違うため、希望に沿った順番で行っている。仲の良い入居者様同士と一緒にいれることによって、会話をしながら入浴され、楽しんで入浴していただけるよう心掛けている。入浴日に関しては、職員人数や体制の関係で固定で決めている。			施設事情により曜日と時間は固定となっているが、曜日によって男女の入浴順番を逆にしたり、一人一人の希望に添って時間を調整している。今後もできる限り一人一人の希望に添えるよう調整をしていきたい。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間はゆっくりと休息して頂けるよう、不安・不満時には安心できるまでじっくりと傾聴対応する事を大切にしている。日中、傾眠が強い方には居室で休息をとって頂いたり、体調を気遣い定期的に休養時間を設けたりと対応している。			夜間の睡眠はもとより、日中でも本人の意思により休養の時間を設け、尊重した対応を行い、生活に支障をきたす場合には、活動時間を増やし夜間の睡眠を誘導するなど工夫した支援を提供しており、今後も尊重した支援に努めたい。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関えとう森町クリニックの方で、全入居者様の内服薬の管理をして頂く事となり、現在、前日に翌日分の薬を配薬BOXに入れて施設へ届けて頂いており、職員は届けられたBOX内の個々の氏名が書かれた箇所より毎食前後、各入居者様へ服薬支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関で内服薬の管理とセットを行い、施設へ届けて下さり、服薬変更時には随時連絡を頂いている。服薬出来ない場合にも指示を下さり、早期対応可能な状況で、連携が出来ている為、今後も継続した連携体制に努めたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせた楽しみを提供しているが、認知やADL低下により、日々変わってきている。入居者様に満足してもらえる支援を提供できているかは不明だが、楽しんでもらおうという気持ちでスタッフは支援をしている。	季節を五感で感じ取れるように室内の装飾であったり、行事食等工夫されている。入居者個人の趣味や、得意分野の能力を引き出し、作品完成への意欲行動が生かされがいがっている。一人ひとりの利用者様の個性にあわせた支援を継続してほしい。		日々のレクリエーションから、それぞれの方が参加できるように、役割の工夫を行い参加して頂き、気分転換や活性化を図っている。行事の企画、飾り等、入居者様の五感に刺激を与える事で今後も支援継続したい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ対策規制緩和により外出可能となり、ご家族同行での外出や、行事での外出、個別レクでの外食や買い物など、ご家族様の協力を得ながら、外出支援ができています。	外出レクはリフレッシュになるため、今後も支援を継続してほしい。外出による行動は大きな楽しみであり、特に買い物、外食時の満足度はスタッフ写真が証明している。行事についても、状況に合わせて、外出の機会が増えて、入居者様も心身ともにリフレッシュすることも出来ている。		行事・誕生会・ご家族との外出など、コロナ情勢緩和により今年は外出行えている。良い評価も頂き、今後もコロナ情勢を見ながら、外出支援を継続していきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大半の入居者様は、事務所に金銭管理しているが、希望や認知症の症状により、個人でお金の管理をできる方にはご家族様了承の下、個人で所持して頂いている。施設前の自販機で買いたい時にジュース購入する支援を行っている。			出来る限りは個人で所持できるようにしているが、自己管理能力によっては事務所で預かりし、必要時にはスタッフ付き添いで購入支援している。個人の意思を尊重したい為、今後も支援継続したい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から電話があった場合や本人から電話をしたいという時には繋げて、声を聴いて会話できるように支援している。毎月の広報に個人がわかるように写真をのせ、日々の様子をご家族へ報告している。			本人の要望があればご家族へ電話できる環境であり、ご家族から連絡あった場合にも、本人と話せるように努めている。ご家族と連絡をとると不穏となられる方もおられるが、スタッフ対応可能であれば、継続し連絡がとれるよう不穏時の対策などで、家族との連絡を継続できるよう努めている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホール・廊下には季節ごとに飾り付けを行い、四季を感じて頂き、入居者様によってホール自席に花や装飾品を置くなど居心地の良い空間を提供している。しかし、入居者様によって装飾によって不穏となられる事もあるため、都度、判断して装飾の有無を考えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間部分のスペースや廊下には、四季に合わせた装飾を行い、施設内においても季節を感じて頂けるようにしている。不快とならないように入居者様の様子を伺いながら、心地良いと思って頂けるような環境づくりを継続していきたい。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思表示が出来る方に関しては、訴えを実行して意向に沿った暮らしができていると思われる。意思表示が出来ない、又は無い方に関しては、提供できていないと思う。スタッフの考えになってしまうが、本人の意思を汲み取って提供することが今後の目標となる。			認知症状の進行により、自分の意思を訴える事が出来ない方には、日々関わっていく中での表情や仕草から汲み取っているが、今後も課題としてあげ、意思表示できる方に関しては、今後も出来る限り意向に添えるように努めていきたい。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントにより、ケアプランを作成し、個々によってケア内容を変えている。テーブル席等も普段の様子などから、人間関係良好になるよう位置の変更を都度行い、本人に合った交友関係で生活できるよう、日々スタッフ間で情報共有し、実施している。			入所時のアセスメントから生活歴や習慣等をケアプランに反映している。施設生活になると人間関係も様々となる為、ホールではテーブル席の変更等対応している。今後も暮らしやすい施設生活を送って頂けるよう、話し合いを重ね、実施していきたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関、えとう森町クリニック医師が、ほぼ毎日訪問して下さるため、小さな変化も都度報告して、早期の対応・医療を提供することができている。日々の状態をスタッフ観察しているため、支援内容の変更も早期に行えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関、医師・看護師の人柄がよく、入居者様からも満足している声が聞かれており、スタッフからの細かな相談にも丁寧に対応して下さっており、今後も、良好な関係性づくりに努めていきたい。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出は難しいが、散歩や花の水やりなど、これまでの生活習慣を施設内で継続し行なう事ができている。ADLや認知の低下により出来ないことが増えてきているが、都度、工夫し提供し無理強いをしないよう、本人のやる気を優先し行っている。			施設生活の中で、様々な制限はかかるが、その中で自分のペースを見つける方や、スタッフからの提案で新たな習慣を見つける方など、その方々に合わせた習慣を提供しているが、都度状況は変化していく為、今後も柔軟に対応・提供していきたい。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時には本人が使用していた物などを持参して頂き、持つことができています。面会時や本人の訴えによっても、欲しいものがあれば家族に依頼するなど、都度、対応し自室や身近に置き、使用できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に限らず、入所後も本人の希望、ご家族の希望があれば、身近におけるように対応している。ご家族からの贈り物も居室に飾り、継続して拝見できるように考慮し、施設外との繋がりを取り入れており、今後も行っていきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ規制緩和によって、戸外への外出可能となり、ご家族の協力の基、外出することができている。当日など急な希望の外出は難しいが、事前に連絡して頂き、勤務調整等を行い、本人の希望に添えるよう外出支援している。	室内行事、庭先での夏祭り行事等、工夫している状況。戸外への外出は認知度によって異なり、家族の協力が基本である事、加えて対応する職員の責任も加味されるので、慎重な対応が求められる。感染症対策を徹底しながら工夫し、外出支援を行ってほしい。		今年はコロナ規制緩和となり、町内会の盆踊り大会、施設行事の夏祭りでご家族参加、ボランティアによる催し物、外出レクなど出来ており、本人の希望があれば買い物に行くなど行っており、コロナ情勢をみて今後も努めていきたい。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物置みなど、個々の能力によって、タオルや靴下、衣類などと、置くものを変えて出来る範囲で行って頂いている。レクなどでも、工程によって手伝って頂く入居者様を変える等、みんなで作業できるよう工夫し行なうことを実施している。			認知症状により、出来る事とできない事の判断が難しい方もおられるが、スタッフの支援により、出来る限り行っている。入居者様すべてに役割の提供は中々困難であり、今後の課題としていきたい。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人間関係に配慮したホール席を工夫し、入居者様同士での会話の場を作り、行事やおやつレクから、作業をして活動場を提供し、日々の家事も分担し行っていたり、生き生きと過ごせるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人間関係の配慮から席の配置・工夫をしており、入居者様が楽しんでもらえるようにしている。居室で過ごす方も多く、会話の場を提供出来ない時には、スタッフと会話を行い、笑顔みられている。それぞれの生活ペースを大切にし、その中で活動場を提供できるように今後も課題として努めたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分から進んで交流することの提供は難しいが、行事を通して町内の方との交流や、他入居者様の面会時に顔見知りの方との交流等、機会は少ないが交流の場を設けられている。	推進会議内で、入居者様と委員が話し合う場面もあり、交流する事が出来ている。できる範囲での地域の方々、面会時での他方との交流は自然体で発生している。交流の仕方を協議・工夫した取り組みを行ってほしい。		町内の祭りに参加や、施設内行事でボランティアと関わったが、自分なりの交流機会の提供は行えなかった。今後の課題とし、交流の仕方の幅を広げられるよう、協議を行い実施していきたい。
49	総合	本人は、このGHIにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様からも満足して頂いている意見が多く聞かれるが、認知症の症状や精神状態によっても、日々意見が変わってくる為、今後も入居者様に不満なく、より良い生活を送って頂けることを目標に、スタッフは意見の交換や話し合いを行い、改善して良い支援が提供できるよう日々工夫している。	利用者が日々楽しく「いつまでもここで暮らした」と思える施設となるよう、今後も柔軟で利用者本位のサービスを提供してほしい。当地域の施設として役割は充分果たしており、入居者自身の満足度、利用者ご家族には安心・安全の担保があり、また、施設長をはじめ、スタッフの質の高さも同時に感じています。引き続き、住み慣れた地域で、心豊かに暮らせるように、職員の皆様へ頑張って頂ければと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	柔軟な考えを持ち、創意工夫を行い、症状により日々変わってくる事に対応して、より良い生活を提供できていると思われるが、経験を活かして更に質の高い支援を提供したい。ご家族様からはアンケートや普段の会話から特段不満の声は聞かれておらず、継続して入居者様、ご家族様からも安心してもらえる生活を提供できるよう努めたい。